



第11回 日本 e-Learning 大賞 募集要項

- 日本 e-Learning 大賞
- 経済産業大臣賞
- 文部科学大臣賞
- 総務大臣賞
- 厚生労働大臣賞
- 各部門賞

応募はこちらから ▶ www.elearningawards.jp/

【実施概要】

名称: 第11回日本 e-Learning 大賞
主催: e-Learning Awards 2014 フォーラム実行委員会
日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)
後援: 経済産業省、文部科学省、総務省、厚生労働省
(申請中)
問い合わせ先: 日本工業新聞社 営業・事業本部
「第11回日本 e-Learning 大賞事務局」
100-8125 東京都千代田区大手町 1-7-2
TEL: 03-3273-6180 FAX: 03-3241-4999
e-award@sankei.co.jp

募集締切: 2014年8月31日(日)
審査: 第一次選考 2014年9月上旬(予定)
最終選考 2014年9月下旬(予定)
発表: ●「e-Learning Awards 2014 フォーラム」(2014年11月12日~14日、御茶ノ水・ソラシティ カンファレンスセンター)会場内で発表。また、会場内には展示およびプレゼンテーションの場を設けます。
●フジサンケイ ビジネスアイ紙上および「e-Learning Awards 2014 フォーラム」公式サイトに掲載します。

【趣旨・目的】

e-Learning Awards 2014 実行委員会ならびに日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)は2004年、e-Learning のソリューションを提供するベンダーおよびユーザーなどを対象とする「日本 e-Learning 大賞」を創設しました。

本制度は、新しい e-Learning の可能性を例証し、ブロードバンド社会における e-Learning の健全な発展、市場の確立およびコンテンツ・サービス提供企業の育成を支援することを目的としています。企業・自治体・団体における e-Learning を用いた生産コストダウン・生産性向上・業務改革、また学校・個人においては新しい学習の可能性・学力向上に役立つさまざまなコンテンツ・サービス、ならびにソリューションを表彰します。11回目となる今年も、企業・自治体・団体・学校などから広く募集します。関係の皆様のご応募をお待ちしています。

【発表】

受賞者の発表はフジサンケイ ビジネスアイ紙上などで発表するとともに、11月12日(水)から3日間、御茶ノ水・ソラシティカンファレンスセンターで開催する「e-Learning Awards 2014 フォーラム」(主催:e-Learning Awards 2014 フォーラム実行委員会、日本工業新聞社)会場内で展示およびプレゼンテーションの場を設けます。

【審査方法・審査委員】

審査方法 第1次選考=応募用紙およびデモデータ素材にて審査。10作品を選考。
最終選考 = 第1次選考通過者によるプレゼンテーション(各10分間の説明と5分間の質疑応答)により選考。
選考委員会 第1次選考 審査委員長 福原 美三氏(明治大学 研究・知財戦略機構 特任教授)
(申請中) 最終審査 特別審査委員長 岡本 敏雄氏(京都情報大学院大学 教授)

【応募要領・方法】

応募対象 企業・自治体・団体・学校での応募のほか、個人での応募も可能です。なお、応募は無料です。
応募テーマ 応募テーマは自由で、応募点数に制限はありません。審査共通評価基準をもとに、応募作品の中から e-Learning の発展を予感させるコンテンツ、サービス、ソリューション、導入事例を評価します。
応募方法 「日本 e-Learning 大賞」公式ウェブサイトからエントリーしてください。あわせて、アピールポイントがわかる応募作品、もしくは応募作品の内容がわかる素材(URL、ファイル、動画など)もウェブにて提出してください。

審査時点では事例ユーザー名は一般公表いたしません。 <http://www.elearningawards.jp/>

【お問い合わせ】第11回日本 e-Learning 大賞事務局

日本工業新聞社 営業・事業本部 担当=中村

100-8125 東京都千代田区大手町 1-7-2 TEL:03-3273-6180 FAX:03-3241-4999 e-award@sankei.co.jp

【評価基準】

審査共通
評価基準

■組織における生産性

オフィス、工場などの企業・組織生産性向上や学校教育において著しい成果を見せる学習法などeラーニングの活用により、生産性や学習効果の向上の観点から判断

■メディア活用性

ビデオ、シミュレーションなどのリッチコンテンツや携帯電話、スマートフォン、タブレット端末などのモバイルメディアの使い方で、受講者の学習を促進し、学習効果を上げるかを判断

■品質保証性

学習成果を保証するための理論や見識に基づく分析、評価、改善活動の結果、コンテンツ開発、メンタリングサポート、eラーニング活用方法などの分野で品質を保証するかを判断

■新規性

画期的なコンテンツ、ネットワーク技術の活用、新規活用分野開拓、新たなeラーニングコンセプトの実現、新しい学習法など、eラーニングの新たな分野拡大に貢献するものであるかを判断

■社会連携性

Twitter や facebook などに代表されるソーシャルメディアの活用による学習者間でのコミュニティ形成や、国際交流・異分野連携・産学連携などを通じた社会でのより広がりある学習コミュニティの形成によって学習意欲や学習継続性を高める効果が期待できるものであるかどうかを判断

■学習達成評価

eポートフォリオの活用や学習達成度の客観評価指標の導入など、学習者にとって付加価値の創造に繋がる学習評価を効果的に導入して入るかどうかを判断

【表彰内容】(申請中)

■日本 e-Learning 大賞 (通称:e-Learning of the Year) 1点 (賞状と賞品)

応募作品の中で今年最も優秀である作品を表彰対象とする。

■経済産業大臣賞 1点 (賞状と賞品)

e-Learning を活用することにより、企業の活性化、生産性の向上、新しいビジネスモデルの構築を予感させるコンテンツ、サービス・ソリューションを提供する作品および e-Learning の発展に寄与すると考えられる新技術を表彰対象とする。

■文部科学大臣賞 1点 (賞状と賞品)

生涯学習など個人のスキルアップ、初等・中等・高等教育など学校教育を中心とした分野への学力向上の提案、人間教育に貢献するコンテンツ、サービス、ソリューションを提供する作品を表彰対象とする。

■総務大臣賞 1点 (賞状と賞品)

モバイルラーニングなどコネクティクス・ブロードバンド時代におけるネットワーク技術の活用や地域貢献に役立つ優良なコンテンツ、サービス、ソリューションを提供する作品を表彰対象とする。

■厚生労働大臣賞 1点 (賞状と賞品)

キャリア形成、職業能力開発など人材の育成に寄与し、技術・技能向上や就業支援に貢献する優秀なコンテンツ、サービス、ソリューションを提供する作品を表彰対象とする。

■各部門賞 数点 (賞状)

ある分野において極めて特徴的であり、今後の可能性を大いに感じさせる作品を表彰対象とする。

【お問い合わせ】第11回日本 e-Learning 大賞事務局

日本工業新聞社 営業・事業本部 担当=中村

100-8125 東京都千代田区大手町 1-7-2 TEL:03-3273-6180 FAX:03-3241-4999 e-award@sankei.co.jp